



岩手日日新聞社

一関市南新町 60
郵便番号 021-8686

編集局 0191 (26) 4204
営業局 0191 (26) 5111
販売事業局 0191 (26) 5112
総務局 0191 (26) 5114

盛岡支社 019 (654) 7730
東京支社 03 (3573) 1335
仙台支社 022 (267) 2253
平泉支局 0191 (46) 5104
千厩支局 0191 (53) 2233

©岩手日日新聞社 2012
<http://www.iwanichi.co.jp/>



骨寺村莊園 交流館展示棟

建築工事、月内完了へ

13年度オープン
目指す・一関

農村景観の魅力紹介

年度末に展示実施設計には遺跡、景観の重要性の展示工事を実施。中間が固まる予定で、来年度を効果的に紹介するため 報告ではVインフォメー

ション▽コア▽テーマの3区分による展示構成とし、「平泉」との関わりや歴史、豊かな自然、特徴的な水田景観など本寺地区の魅力を観光客に紹介する一方、遺跡、景観が広がる屋外への誘導の役目も担う。

展示工事の完了、オープンで同交流館は全施設が整うことになる。

一関市殿美町字若神子地内で進められている骨寺村莊園遺跡のガイダンス施設・骨寺村莊園交流館展示棟の建築工事は大詰めを迎えている。国連教育科学文化機関(ユネスコ)世界遺産に登録された「平泉の文化遺産」への追加登録を目指す同遺跡を紹介する施設で、1月下旬の完成予定。2012年度は展示工事を急ぎ、13年度のオープンを目指す。

展示棟は同遺跡や重要な文化的景観に選定された本寺地区の農村景観を来訪者に紹介する施設。一足先に11年7月にオープンした管理・レストラン棟「若神子亭」南側に整備する。

床面積約3000平方メートル。展示室と映像室(シアタールーム)の2室、案内ボランティアの控室、倉庫を備える。若神子亭と同様、白壁と黒の板張りの外壁に黒い大屋根を配置した純和風の落ち着いた外観だ。

建築工事が大詰めを迎えている骨寺村莊園交流館展示棟。奥右は管理・レストラン棟

建築工事は昨夏に本格化し、外装が完成。現在は内装工事が急ピッチで進められている。23日の完成予定。建設費は約1億4000万円。